

鳥取大学医学部附属病院に必要な施設等について

平成 27 年 8 月 13 日

福祉保健部医療政策課

他県でのドクターヘリ導入時の初度整備内容を参考としているが、各施設・設備の内容・設置場所により追加費用が必要となる等、試算が大きく異なる可能性がある。

区分	試算額
1 コンサル委託経費	1,934
2 導入に向けてのインフラ整備	195,183
(1) 格納庫・給油設備等整備	195,183
ア 設置可能調査、航空局届出、各種調査設計等	2,862
イ 格納庫(1箇所整備)	80,492
ウ 給油設備(1箇所整備(病院ヘリポート屋上))	71,719
エ 運航管理室(1箇所(病院)、待機所2箇所(病院、空港)) 等	40,110
オ ヘリポート建設	整備済
(2) ヘリポート整備	130箇所整備
3 医師、看護師研修	1,127
4 搭載医療機器	15,765
5 通信施設(医療福祉無線、消防防災無線)	4,452
6 フライトスーツ	3,334
7 導入に向けての調整経費(運航調整委員会、各種申請経費)	20,572
8 導入までのヘリチャーター経費(訓練経費 15回)	49,215
合 計	291,582

1 給油設備(病院ヘリポート屋上)

ドクターヘリは、**安全性の確保のため**、また、離陸重量が重くなると燃費が悪くなるため、必要最小限の燃料を補充しつつ飛行を繰り返すことから、病院の屋上ヘリポートに給油設備があることが望ましい。

2 運航管理室及び通信施設(医療福祉無線、消防防災無線)

基地病院に設置され、ドクターヘリの運航管理及び関係機関との連絡調整を行う。通常、操縦士、整備士、CSの3名が常駐する。

※ CS: 運航管理担当者(Communication Specialist)を指す。ヘリコプターが安全に航行できるよう、関係機関(消防機関、航空管制、医療機関等)と連絡調整を行ったり、無線・コンピューターを使い、気象情報等を操縦士に伝達する業務を行う。